

# 安価客船市場に商機

## 沖国大総研 フォーラム ニーズと課題提起

沖国大産業総合研究所第  
27回フォーラム「沖繩のク  
ルーズ観光と地域的対応」

(同研究所主催、琉球新報  
社共催)が11日、同大で開  
かれた。

日本クルーズ&フェリー  
学会前会長の池田良穂大阪  
府立大学名誉教授が基調講  
演し、世界的に1泊1万円

台からの安価なカジュアル  
クルーズ需要が爆発的に増  
えていることを強調し、14  
兆円の巨大市場をどう取り  
込むかが課題だと提起し  
た。

池田氏は日本では伝統的  
なラグジュアリークルーズ  
や探検クルーズのイメージ  
が強いが「世界市場は合わ  
せても4%程度で、カジュ  
アルクルーズが80%を占め  
ている」と説明。各社とも  
コストを抑えるために大型  
化を進めており、最大級の

クルーズ船は一度に6千人  
が乗船できるようになって  
いると紹介した。

その中で、中国を拠点と  
した定点定期クルーズが増  
えており「10年ほどでゼロ  
が240万人になった」と  
強調した。

2030年には1千万人  
市場に成長すると見込ん  
だ。特に中国南部の厦門や  
香港からの出航が増えてお  
り、距離的な近さからも「沖  
繩が選ばれている」と指摘  
した。

その後、パネリストの同  
大の比嘉正茂准教授、田口  
順等准教授と中部広域市町  
村圏事務組合の仲宗根亨  
氏、同事務組合クルーズ船  
アドバイザーの荻野利明  
氏、吉川太朗氏が報告した。  
クルーズ観光と沖繩振興や  
着地型観光商品の開発につ  
いて紹介した。

さらに池田氏とパネリス  
トに、コーディネーターの  
同大の愈焔強教授が加わり  
パネル討議が行われ議論を  
深めた。



【主催】沖繩国際大学 産業総合研究所  
【共催】琉球新報社  
【会場】沖繩国際大学 10号館3階 301教室  
【日時】平成30年11月11日(日)14時~17時

パネル討議でクルーズ船受け  
入れの課題や沖繩振興などに  
ついて議論を深める池田良穂  
大阪府立大名誉教授(左端)  
ら11日、宜野湾市の沖繩国  
際大学